

放射光物質構造科学の新展開：高圧物質科学と地球惑星科学

【日時】 平成30年12月13日(木), 14日(金)
【場所】 東北大学 金属材料研究所2号館講堂
【アクセス】 金属材料研究所: <http://www.imr.tohoku.ac.jp/ja/access.html>
【参加申込】 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉
東北大学大学院理学研究科地学専攻
鈴木 昭夫 (a-suzuki@m.tohoku.ac.jp)
【共催】 日本金属学会 東北支部
【協賛】 日本鉄鋼協会 評価・分析・解析部会

(参加費無料)

12月13日(木)
13:30 - 13:40 「開会の辞」
13:40 - 14:10 「変成岩中のマイクロダイヤモンド」
14:10 - 14:40 「実験室と天然におけるグラファイト-ダイヤモンド相転移と結晶化・組織化メカニズム」
14:40 - 15:10 「超深部起源天然ダイヤモンドと起源がよくわからないダイヤモンド」
15:10 - 15:30 ～～ 休憩 ～～
15:30 - 16:00 「窒化ホウ素多形の高圧相転移と材料応用への展開」
16:00 - 16:30 「放射光を利用した新物質合成・難水素化アルミニウム合金の水素化物」
16:30 - 17:00 「超高压合成法を活用した新しい触媒材料の探索」
17:00 - 17:30 「超高压力環境での様々な化学反応を利用した新物質・新結晶の創製」
17:30 - 17:50 「強い重力場を用いた新規物質プロセス」
17:50 - 18:40 ポスターセッション
18:40 - 20:30 意見交換会 (金属材料研究所2号館ラウンジ 参加費: 3000円)

鈴木 昭夫 (東北大学)
西山 忠男 (熊本大学)
大藤 弘明 (愛媛大学)

鍵 裕之 (東京大学)

谷口 尚 (物質・材料研究機構)
齋藤 寛之
(量子科学技術研究開発機構)
山田 幾也 (大阪府立大学)
長谷川 正 (名古屋大学)
徳田 誠 (熊本大学)

12月14日(金)
9:00 - 9:30 「高圧力を用いた π 電子系ナノカーボンの電子構造の制御」
9:30 - 10:00 「高圧合成を用いた負熱膨張材料の探索」
10:00 - 10:30 「高圧合成で酸素を取り込む」
10:30 - 10:50 ～～ 休憩 ～～
10:50 - 11:20 「X線吸収分光を利用した高靱性スティショバイト多結晶体の破断面観察と高靱性化機構の解明」
11:20 - 11:50 「高圧熱処理による金属ガラスの局所構造変化」
11:50 - 12:10 「地球深部含水素鉱物中の水素位置の解明に向けて」
12:10 - 13:30 ～～ 昼食休憩 ～～
13:30 - 14:00 「多核金属錯体の結晶構造とフォトルミネッセンスの圧力依存性」
14:00 - 14:30 「超高压下で合成された新規二元系窒素化物の結晶化学と圧縮特性」
14:30 - 15:00 「高圧X線回折を用いた水素化物の高圧構造変化の観察」
15:00 - 15:20 ～～ 休憩 ～～
15:20 - 15:40 「放射光X線を用いた閉鎖系におけるAlに富む含水ブリッジマナイトの状態方程式の決定」
15:40 - 16:00 「火星隕石に見られる衝撃により黒色化したかんらん石」
16:00 - 16:30 「衝撃波圧縮と地球生命の起源」
16:30 - 16:40 「閉会の辞」

中山 敦子 (岩手大学)
東 正樹 (東京工業大学)
山本 文子 (芝浦工業大学)

西山 宣正 (東京工業大学)
柴崎 裕樹 (物質・材料研究機構)
栗林 貴弘 (東北大学)

小澤 芳樹 (兵庫県立大学)
丹羽 健 (名古屋大学)
中野 智志 (物質・材料研究機構)

柿澤 翔 (愛媛大学)

竹之内 惇志 (東京大学)
古川 善博 (東北大学)
杉山 和正 (東北大学)